

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

教育目標

(開発創造) 社会に関心を持ち、自分で創意工夫できる
 (和衷敬愛) おだやかで思いやりをもって人に接することができる
 (質実剛健) 心身ともに充実して飾り気がなく、強くたくましく日々を過ごすことができる
 その精神のもと、自分の頭で考えることができる、自分を律することができる、自分の言葉や行動で表現することができる、信頼される生徒を育てていく

2 中期的目標

1 教員一人ひとりが、自分の力を発揮し、教員相互に高めあう学校 (指示事項 21 教員の資質・能力向上)

(1) 日々の授業が、「わかりたい」「できるようになりたい」と思う生徒の思いに応え、そのことで教員への信頼をかちとる場であることから、「教科指導」が最大の「生徒指導」であるとの教員の意識改革とその自覚に裏打ちされた教育活動を展開する

ア 授業において「ほめる・笑う・叱る」を教員は心がけ、生徒一人ひとりの学習意欲の向上を図る

イ 単元別テストや小テストなどを実施し、学期ごとに学習の定着度を確認、生徒のフォローを学年・教科担当者全体で行う

ウ 観点別評価の精度を高める

※授業アンケート「生徒理解」を3.30とする (R2 3.22 R3 3.25 R4 3.27)

※授業アンケート「生徒意識」を3.20とする (R2 3.06 R3 3.14 R4 3.17)

(2) 教員同士が高めあう意識を持ち、モラルの向上を図り、授業力UPにつなげる

ア 教員相互授業見学の意識の共有化を図り、教員の授業改善の結果、生徒の授業満足度を向上させる

イ 授業力向上プロジェクトと情報委員会で連携し、リーディングGIGAハイスクール事業機器を活用し、ICT教育の更なる推進について検討していくとともに、グループ学習、発表(伝える)能力育成をめざす授業の推進を行っていく

ウ 「働き方改革」や健康管理の観点から、長時間勤務の縮減を図るため、全校一斉退庁とノークラブデーの徹底を図る

※授業力向上プロジェクトを継続させ、公開授業の増加を図る

※リーディングGIGAハイスクール事業を推し進め、ICTを利用した授業、ペアワークやグループ学習の有効活用を図る

※ストレスチェック職場の健康リストの結果をもとに、教職員の心身の健康を維持させていく

2 生徒が入ってよかった・卒業してよかったと実感できる学校

(指示事項 重点14 自主性・自立性を育成するキャリア教育の推進) (指示事項 重点11 学びに向かう環境づくりの充実)

(1) 入学から卒業までを見通したキャリア教育を通して、「生きる力」を身につけさせ、良き社会人の育成に取り組む

ア 挨拶を通して、人間関係の構築のきっかけとさせ、また遅刻者数を減らす

イ 生徒会活動の活性化、部活動の充実化を図る

ウ 国際交流を通して刺激を受け学習意欲を高める

※遅刻者数の減少を図り、2000以下を維持する (R2 2290 R3 1803 R4 1481)

※生徒向け学校教育自己診断におけるキャリア教育関連の肯定率を85%とする (R2 76% R3 81% R4 82%)

※部活動加入率を65%とする (R2 65% R3 65% R4 58%)

※ニュージーランドと台湾、韓国の姉妹校への語学研修派遣及び相互交流を復活

※卒業生の日本語アシスタント派遣：ニュージーランドの姉妹校に卒業生を日本語アシスタントとして派遣を復活

※英語アシスタントの受入れ：ニュージーランドの姉妹校から卒業生を英語アシスタントとして受け入れを復活

※地域の国際関連施設と語学を通じた連携を継続

※生徒向け学校教育自己診断における国際交流関連の肯定率をコロナ前の90%に戻す (R2 63% R3 59% R4 64%)

(2) 一人ひとりの生徒が希望進路を切り拓くことができるよう、進路保障していく

ア 目標達成に最後まで努力する態度を養い、一般入試に挑戦する生徒を増加させる

イ 生徒の進路実現を支援する計画・体制を確立して、職業観を育成し、目標達成に最後まで努力する態度を育む

ウ 進学講習を組織的に実施する

※外部指標のある教材や模擬試験なども活用し、進学希望者に自己の学習定着度を見つめさせ、進学への意識を高めさせていく

※スタディマラソン・進路夏の陣、冬の陣・共通テストチャレンジなど独自の取組みを継続させ、大学進学希望者の現役合格率を90%以上とする。

(R2 88% R3 88% R4 88%)

(3) 安全で安心な学校づくりを行う

ア 人権教育推進委員会、及び教育相談委員会の充実(いじめの未然防止と早期発見、ケース会議の適宜開催)

イ 円滑な人間関係の構築を支援し他者を思いやる心を育てるため、探求やHRの充実を図る

ウ 支援の必要な生徒とその合理的配慮について実態の把握と教員の共通理解を促進し支援の充実を図る。

エ 生徒にとって学校が安全で安心できる居場所となるために、専門家であるSCやSSW等外部人材の活用

※安全で安心な学校づくりを行うための教職員研修を継続

※要支援生徒の情報共有に向けたケース会議や教員研修の充実

3 保護者や外部と手をつなぎ、その真ん中に生徒のいる学校 (指示事項 重点5 府立高校の魅力づくりと効果的な情報発信)

(1) 地域の信頼に応えることのできる学校であり続ける

ア 【学校を外に開く】ケーブルテレビにおけるテレビ学校説明会のまとめ役として取組みを継続していく

イ 【学校を外に開く】中学校訪問や中高連絡会において、生徒の出身中学校との連携を強化する

ウ 【学校を外に開く】住吉区との防災連絡会議を継続し、地域の防災活動と連携していく

エ 【学校を内に開く】学校説明会などで本校の良さを知ってもらう取組みを実施する

オ 【学校を内に開く】「ご来校(お電話)いただきありがとうございました」の姿勢を維持する

※学校ホームページを使った情報発信やメールマガジンの発行を継続し、個人情報に留意し、動画配信なども検討する

※学校説明会で生徒が活躍する場面の充実

※保護者向け学校教育自己診断における学校評価関連の肯定率90%とする (R2 91% R3 88% R4 88%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>生徒回答 高評価 (3.0 以上) ・1人1台端末を活用している 3.20 ・部活動の活発さ 3.17 ・文化祭の楽しさ 3.12 ・生徒会活動が活発 3.07 ・選択科目 3.04 ・進路指導 3.04 HPやメルマガ等からの情報提供 3.04 ・体育祭の楽しさ 3.04 ・学校へ行くのが楽しい 3.02 ・HRや探求の活発さ 3.02 ・進路相談 3.02 低評価 (2.5 未満) なし</p> <p>教職員回答 高評価 (3.0 以上) ・情報発信 3.36 ・生徒の人権尊重 3.17 教育相談 3.11 ・学校行事を工夫改善 3.00 低評価 (2.5 未満) ・施設や設備の充実 2.25 ・教育課程 2.31</p> <p>保護者回答 高評価 (3.0 以上) ・入学させてよかった 3.20 文化祭 3.19 ・子どもは学校へ行くのを楽しみにしている 3.10 ・体育祭 3.06 低評価 (2.5 未満) ・施設や設備の充実 2.41</p> <p>分析 生徒たちから低評価がないことは喜ぶべきことである。ウィズコロナなかにあり、以前のような日常が取り戻されつつあることが要因と思われる。 さらに、行事などにも保護者の方々が参加できることになり、子どもたちの生き生きした姿を目の当たりにして、高い評価を頂けていることはうれしく感じることである。 次年度も置かれている状況を見つつ、学校生活の充実を図るための方策を考えていきたい。</p>	<p>第1回 (令和5年7月7日) ① リーディングギガハイスクール事業の対象校に選出されたことにより、電子黒板機能付きプロジェクタ配備が叶い、教員同士で活用事例・好事例などを共有していること。 ② 3月にオーストラリア・パースへの語学研修を実施できたことや台湾(豊原高級中学)、韓国(プサン外国語大学)、ニュージーランド(タワカレッジ)との交流を計画されていること。 ③ コロナの影響で国際交流に関する学校教育自己診断の評価が昨年度まで高くなかったが、これから徐々に取組みを加速し、回復できる見込みがあること。 ① ② ③ いずれも高く評価していただいた。</p> <p>第2回 (令和5年9月9日) ① 国際交流(ニュージーランド9名、韓国22名、10月には台湾から渡日など)が復活し、活性化していていること。 ② 人権教育は重要な教育であり、同和教育(当事者の講演)、障がい者理解教育(デフバレー選手の講演)などに取り組んでいること。 ③ リーディングギガハイスクール事業で、電子黒板機能付きプロジェクタの活用が進んでいること。 ① ② ③ いずれも高く評価していただいた。 (当日は文化祭であり、校内見学をされた委員の方々の感想) 生徒たちがいきいきしており、コロナ前のような高校生らしい姿をひさしぶりに見た気がした。生徒や来校された方々が楽しんでいる様子を見ることができた。天気も良く、大変活気があった。生徒たちも喜んで取り組んでいた。生徒それぞれが自分の役割を一生懸命果たそうとしている姿がよかった。</p> <p>第3回 (令和6年1月26日) ① 学校教育自己診断の結果とその分析について、生徒評価において「低評価がない」というのは大変よいこと。 保護者・教員において「施設や設備の充実」が低いことで、特に建物・トイレが古いこと(洋式化に取り組んでいるとしても)に関しては、改修等を教育庁に協議会として要望したい。 ② 生徒が、標準服を正しく着て、教材が入ったカバンを毎日持参しているのは、大変よいことであり、そのあたりが「入学してよかった・させてよかった」に表れている。また、その姿を見て、阪南高校に行かせたいと思っている中学生の保護者が周りにいるとお褒めの言葉をいただいた。 ③ 教職員のストレスチェックの数値が良好ということは大変重要。教職員集団が健全であることは、生徒にもよい影響を与える。これからも継続してほしい。 ④ 地域との連携を引き続きお願いするとともに、地域の行事(敬老大会)等へも参加してもらえるとありがたい。 ⑤ さまざまな生徒に寄り添うという点を大事にしてもらい「安全で安心な学校づくり」の継続をお願いする。 令和5年度 学校評価(案)、及び、令和6年度 学校経営計画(案)はご承認いただいた。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 教員相互に高めあう学校	<p>(1) 日々の授業が、「わかりたい」「できるようになりたい」と思う生徒の思いに応え、そのことで教員への信頼を勝ち取る場であることから、「教科指導」が最大の「生徒指導」であるとの教員の意識改革とその自覚に裏打ちされた教育活動を展開する</p> <p>(2) 教員同士が高めあう意識を持ち、モラルの向上を図り、授業力UPにつなげる</p>	<p>(1) ・単元が終わるごとに、科目担当者同士で授業の進捗や深度などの情報交換を行い、生徒の学習定着度を共有する。 ・生徒の学習活動を肯定的に評価するとともに、興味関心を引き出すため ICT 機器等を活用した教材や指導法を研究する</p> <p>(2) ・「褒めあげシート」を活用し、教員相互の授業見学を実施し、教員一人ひとりが授業力向上に取り組む ・授業力向上プロジェクトと情報委員会で連携し、リーディングGIGAハイスクール事業で設置された機材等の活用を促進する ・教員の健康管理の観点から、時間外在校等時間の多い教員に個別指導を行う</p>	<p>(1) ・授業アンケート 「生徒理解」前年度以上[3.27] ・授業アンケート 「生徒意識」前年度以上[3.17] ・ICTの活用をはじめ、リーディングGIGAハイスクール事業に関する教職員研修を学期に1回以上実施</p> <p>(2) ・教職員向け学校教育自己診断「授業関連」の肯定率を前年度以上[75%] ・教職員向け学校教育自己診断「リーディングGIGAハイスクール」関連の肯定率70%(新規) ・ストレスチェック職場の健康リスト3尺度の平均値100以下を維持[98]</p>	<p>(1) ・授業アンケート 「生徒理解」3.25 (△) ・授業アンケート 「生徒意識」3.19 (○) ・ICTの活用をはじめ、リーディングGIGAハイスクール事業に関する教職員研修を毎学期実施 (○)</p> <p>(2) ・教職員向け学校教育自己診断「授業関連」の肯定率78% (○) ・教職員向け学校教育自己診断「リーディングGIGAハイスクール」関連の肯定率72% (○) ・ストレスチェック職場の健康リスト3尺度の平均値93 (◎)</p>

府立阪南高等学校

<p>2 生徒が学校生活を充実させることができる学校</p>	<p>(1) 入学から卒業までを見通したキャリア教育を通して、「生きる力」を身につけさせ、良き社会人の育成に取り組む</p> <p>(2) 一人ひとりの生徒が希望進路を切り拓くことができるよう、進路保障していく</p> <p>(3) 安全で安心な学校づくりを行う</p>	<p>(1) ・遅刻者数を減らす ・ノークラブデーを確立し、教職員だけでなく生徒の負担も軽減しつつ、部活動への入部を奨励し生徒の自立心や社会性を育てる ・ウィズコロナのなかで可能な国際交流の機会を充実させていく</p> <p>(2) ・新たな教育課程を進めていくなかで、ブラッシュアップを図り、よりよい学習環境を作り上げていく ・外部指標教材や模擬試験、検定試験を活用し、学力の向上を図る ・進路希望を実現するために、一般入試まであきらめない意識を持たせる</p> <p>(3) ・学年団、各分掌で生徒情報を共有する ・教育相談委員会を充実させ、SCやSSWとともに、生徒が相談しやすい環境作りに努める ・人権教育推進委員会の活動を充実させ、計画的な指導計画を作成する</p>	<p>(1) ・遅刻者数 2000 名以下を維持 [1481 名] ・部活動入部率を前年度以上 [58%] ・生徒向け学校教育自己診断「国際交流関連」の肯定率を前年度以上 [64%]</p> <p>(2) ・4 年制大学希望者の現役合格率 80%を維持 [88%] ・生徒向け学校教育自己診断におけるキャリア教育関連の肯定率 80%を維持 [82%]</p> <p>(3) ・生徒向け学校教育自己診断「教育相談関連」肯定率前年度以上 [62%] ・生徒向け学校教育自己診断「人権教育」肯定率 80%を維持 [80%]</p>	<p>(1) ・遅刻者数 2000 名以下を維持 [1526 名] (○) ・部活動入部率 59% (○) ・生徒向け学校教育自己診断「国際交流関連」の肯定率 66% (○)</p> <p>(2) ・4 年制大学希望者の現役合格率 89% (○) ・生徒向け学校教育自己診断におけるキャリア教育関連の肯定率 81% (○)</p> <p>(3) ・生徒向け学校教育自己診断「教育相談関連」肯定率 60% (△) ・生徒向け学校教育自己診断「人権教育」肯定率 80% (○)</p>
<p>3 保護者や外部機関と連携する学校</p>	<p>(1) 地域の信頼に応えることのできる学校であり続ける</p>	<p>(1) 【学校を外に開く】 ・生徒会活動や部活動等を通じて、地域の学校や自治体等と交流を図る ・メールマガジンの発行においては、個人情報に留意しつつ、「お知らせ」以外にも学校の様子等がわかるものを発信していく ・中学校、塾等の訪問や中高連絡会を実施し生徒の出身中学校との連携を強化する ・ケーブル TV で放映される「テレビ高校説明会」の中心となり、多くの高校へ参加を呼びかけ、広報の有効な手段とする 【学校を内に開く】 ・体験入学、学校説明会をはじめとする本校の良さを知ってもらう取組みを実施し、生徒会役員やクラブ員が中心となって運営していく ・「ご来校（お電話）いただきありがとうございました」の姿勢を維持する</p>	<p>(1) 【学校を外に開く】 ・地域の連合会だけでなく住吉区とも連携し、生徒や地域の安全安心に努めていく また、部活動等を通して中学校等との交流を継続していく それらの取組みを前年度以上 [3 回] ・教職員向け学校教育自己診断「広報関連」肯定率 80%維持 [84%] ・ケーブル TV で放映後、動画配信サービスで流される本校の「テレビ高校説明会」の視聴回数を前年度以上 (1605 回) 【学校を内に開く】 ・体験入学や学校説明会参加者のアンケート肯定率 90%を維持 [98%] ・保護者向け学校教育自己診断「阪南高校に入学させてよかった」の肯定率 80%維持 [88%]</p>	<p>(1) 【学校を外に開く】 ・地域の連合会や住吉区、さらに部活動等を通して中学校等との交流を 3 回実施 (○) ・教職員向け学校教育自己診断「広報関連」肯定率 97% (◎) ・ケーブル TV で放映後、動画配信サービスで流される本校の「テレビ高校説明会」の視聴回数 613 回 (△) 【学校を内に開く】 ・体験入学や学校説明会参加者のアンケート肯定率 95% (○) ・保護者向け学校教育自己診断「阪南高校に入学させてよかった」肯定率 87% (○)</p>